

〔皇年代略記醍醐〕延長八年十月十日、葬後山科陵、

〔大鏡醍醐〕次の帝、醍醐天皇と申き、略○中みさゝき山しなになり、後の山しなといふ、

〔日本紀略村三〕天曆元年九月二十九日、後山階太上天皇醍醐國忌也、

○按ズルニ、後山階トハ、天智天皇ノ、山科陵ニ對シテ稱スル所ナルベシ、  
〔二代要記醍醐〕醍醐天皇號小野、

○按ズルニ、日本紀略ニ、延長八年十月十日、奉葬大行皇帝於山城國宇治郡山科陵、醍醐寺北、笠取山西、小野寺下トアリ、是亦陵地ニ依テ稱スル所ナルベシ、

〔菅別記〕明應九年十月十七日、凡儒中故實者、天皇之追號、後字用音讀、大臣稱號之時、後字用訓讀、是通法之故實也、後深草院一號者、後字用訓讀云々、其様御不孝之讀、不聞好之儀也、後深草院

○按ズルニ、菅別記ニ、後字用音讀トアレド、古書往々後字ノ下ニノ、字ヲ添ヘタルモノアリ、特ニ後深草ノミニアラザルナリ、

〔類聚雜例〕長元九年五月一日、戊寅、關白相府藤原等、於殿上被定御正日雜事、略○中又有可奉稱號之儀、相府命云、尋一條院御時例、無宣旨、只奉稱一條院云々、仍准彼例、奉稱後一條院如何、彼此被申云、甚佳事也、

○按ズルニ、此次後朱雀後冷泉ノ二帝、奉號ノ事、所見ナシ、拾芥抄ニ、朱雀院、累代後院トアレド、モ後朱雀同院ニ移御ノコト、是亦徵證ナシ、後冷泉ハ、是モ拾芥抄ニ、冷泉院、累代後院トアリテ、扶桑略記ニ、永承天喜ノ間、同院ニ遷幸ノ事アリ、是レ後冷泉ト號スル所以ナルベシ、錄シテ參考ニ供ス、

〔榮花物語松三十八〕此院をば一院とぞ人々申しける、後三條院とも申すめり、

〔山槐記〕建久三年三月十四日、丙戌、昨日於舊院、院司公卿被定院號、後白河院云々、